

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2590100190		
法人名	ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター大津仰木の里		
所在地	滋賀県大津市仰木の里三丁目5番20号		
自己評価作成日	平成28年10月15日	評価結果市町村受理日	平成29年1月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会		
所在地	滋賀県草地球市笠山七丁目8番138号 滋賀県立長寿社会福祉センター内		
訪問調査日	2016/11/11		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に恵まれた環境の中でどなたにも気軽に訪問していただけるよう日中は常に玄関を開放している。 地域住民の情報や体験談の交流、知識を学べる場として委託事業「ほっとスペース」を月1回開催している。 敷地内で野菜作りをしたり季節感のある材料を使っての手作り料理の提供を心がけている。 月一度「仰木の里便り」を発行しホームの様子などを知らせている
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホーム仰木の里は、閑静な住宅街と棚田のある田園風景の中にあり季節の移り変わりを感じることが出来る。開所時より自治会の一員として地域の行事や清掃活動等にも出来るだけ参加している。散歩時には、普通に挨拶や会話が出来る関係が築かれている。利用者が集う住まいは、清掃が行き届き明るい雰囲気である。毎日の暮らしの中では、出来る事(洗濯たたみや軽い個室の清掃等)をスタッフと一緒にいき一人ひとりに合った役割を大切に支援が行われている。ほっとスペース(介護者の勉強会)やニチイほほえみ便りで情報を伝え事業所に立ち寄りやすい雰囲気づくりに努力されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある			○	2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)＋(Enterキー)です。〕

自己 外部	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム独自の理念とユニット毎の理念があり各ユニット入り口に掲示し、日々理念の共有と実践に取り組んでいる。	全体の理念は、月1回行われるスタッフ会議や研修会で確認をしている。その他に、現状変化に伴い見直しをした各ユニットごとの理念を、申し送り時に振り返りかえり意思の統一を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	開所時より地域自治会に加入している。大津市より事業委託を受けて月1回「ほっとスペース」開催して地域と交流している。外部希望者によるホームの見学が行われている。「こども110番の家に登録している」	自治会との付き合いも長く、地域の清掃作業や、運動会、神社の祭りなどのお誘いがあり参加している。事業所で行う「ほっとスペース」への参加を呼びかけて地域との交流を広めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症相談窓口として玄関に掲示し相談や問い合わせを受け付けている。委託事業「ほっとスペース」の開催を月1回行っている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月ごとに開催し、地域包括センター・民生委員・入居者ご家族の参加にて、ホームの状況や行事報告を行い、意見交換を行っている。	地域包括支援センター職員、地域の民生委員、利用者家族の参加があり報告や意見交換が活発に行われている。出された意見はスタッフ会議や申し送りで共有し「ほほえみ便り」で報告されている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者には、相談・報告等行っている。又、市からの連絡や問い合わせもあり、協力関係は保たれている。	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加しており、実情や課題が市担当者にも伝わっている。相談等いつでも出来る関係である。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については内部研修を実施している。スタッフ間で身体拘束ないケアを心がけている。玄関の施錠は防犯上夜間のみ行っている	身体拘束をしないケアについて、ニチイ・グループ全体のマニュアルがあり年1回の研修を全職員受け確認している。転倒のリスクのある方や一人で外出されそうな方には、理由を探り、さりげなく声をかけたり、一緒について行く等の支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「高齢者虐待防止」マニュアルを使用し内部研修をし、日々のケアの中で振り返りを行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在「成年後見制度」を利用している入居者はいない。 利用され方の入居に対しては支援が行える体制を作りたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は重要事項説明書の読み合わせを行い、十分に時間をかけた説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議などで意見、要望を聞く機会を設けている。家族様来訪時やケアプラン変更時にご家族様の意見を聞く機会を設けている。	家族面会時等いつでも、どのスタッフでも、意見や要望を聞くことのできる雰囲気づくりに留意している。意見や要望は申し送りで検討し反映するようにしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のスタッフ会議や申し送り時、日常会話の中から意見や思いを聞きユニットリーダー、管理者、センター長で職員意見を共有し職員の意見が反映出来る様に努めている	特に個別面談日はないが、スタッフ会議や申し送り時、必要時は意見や気づきを聞いてくれると職員より聞き取った。管理者は、一方通行にならないように気をつけて思いをくみ取り検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個別面談等で勤務状況や、実績を把握し、働きやすい職場作りをおこなっている。非常勤勤務者には「キャリアアップ」制度により、定期的な昇給制度がある。ゆっくりと休憩できるスペースの確保が必要である		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者やリーダーが現場に入る機会が多くスタッフの力量が認識出来ている。また、月1回研修を行っている。新卒職員には、専属のOJT担当者を付け、1年間に亘りフォローを行い、目標設定にて自身の役割や取り組み姿勢を作り出し、知識や技能の習得を行う等の人材育成を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	会社内では他業種他地域との交流はあるが同業他社との交流は研修参加時のみとなっている		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の状況把握を行い、本人と直接会話の機会を作り思いを聴き安心して入居出来るようスタッフみんなで取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期は管理者、ユニットリーダー、ケアマネジャーが中心となり家族様と連絡を取り合い本人、家族様とも安心していただけるよう関係作りに努めているおり要望等を職員が共有できるように周知している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の内容により、ホーム入居とは別の必要な支援があれば、その都度ご案内を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人が出来ることは積極的に行って頂き洗濯物等も畳み方など相談しながら一緒に行い助け合いながら一緒に過ごす。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ほほえみ便りで本人の状態やホームの出来事を伝えている。家族様の来訪時介護記録を見て頂き本人様の状態の変化が分かるようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前の住まいの近隣の方や、昔からのお知り合いがホームを訪問したり、定期的に過去の職場後輩が訪ねてきたり、ご本人の思い出を大切に関係作りの継続を支援している。	入所前に本人や家族より聞き取った馴染みの人や場所が記録され、馴染みの人や場所を大切にしたい支援がされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係が良好に保てるように状況に合わせて席の配置を配慮出来るように努めている。他者が困っていると思える時にはお互いに言葉かけを行う場面も見受けられている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご家族様との関係を保ち、何か有れば相談に乗っている。近隣のご家族は定期的にホームを訪れ、ボランティアで演奏会などを開催してもらっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様同士の会話や利用者様とスタッフ間の会話等から希望や意向を把握してスタッフが共有し利用者様本位のサービスをしている。	入浴支援や、排泄支援時等一对一の時に本人の本音が聞けることが多い、言葉で表しにくい方の場合、しぐさや表情から思いを意識的に受け止めスタッフ間で共有し支援に繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族様のご協力にて生活歴やこれまでの経過をセンター方式書式へ記入して頂き、それを見て職員は把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の様子を介護記録、日常生活表、日誌に記載してバイタル測定や排泄状況、食事量等で、日常の体調変化の把握している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常生活の中で状態変化を見逃すことなく現状に即した対応、話し合いをし情報交換し介護計画に反映させている。家族様や本人様から事前に要望を聞いている	家族の来訪時に介護記録をもとに話し合い定期的または、家族の要望や変化に応じて見直し介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録にて日々の様子を記入して各職員が把握している。管理日誌にて変化を共有し現状に即した支援を行い、カンファレンス時の意見交換で介護計画見直しの参考にしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の身体状況を考慮しながらまたホーム内で可能な範囲でサービスに取り組んでいる。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に地域の方々にも参加いただき現状を報告しアドバイスをいただいている。またボランティアの来訪もある		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の月2回の往診を行っている。必要に応じて協力医療機関へ電話連絡し対応の指示を仰いでいる。専門医への受診ではホームより状況報告を行い支援している	協力医療機関の往診の他に以前からのかかりつけ医を受診される方もいる。かかりつけ医への受診は、基本、家族同行であるが、生活の中での変化や様子を伝えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師の定期訪問を行い、往診医との医療連携にて健康維持を支援し、体調変化時には適切な対応を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は協力医療機関より医療情報、ホームよりは介護サマリーを行い状況の共有をしている。退院前には病院での退院に向けてのカンファレンス依頼している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	かかりつけ医、ご家族、ホームとの話し合いにて、ご家族の希望を伺いホームとしての支援や変化時の対応等、具体的に取り決めを行い、ご家族の理解を得ている。	重度化や終末期に事業所で出来るケアについて、入所時に説明している。医療が中心でなければ、訪問看護や往診で終末期のケアを行う方針である。重度化した場合、家族をはじめ関係者と連絡を取り合い支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルがあるり施設内研修も実施している。救命講習を受講した職員もいる。緊急時対応の手順が電話近くに掲示してある		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回は消防署の協力にて避難訓練を行い、全職員が災害に対しての避難・誘導方法の把握を行っている。	定期的な避難訓練を消防署立ち合いで行い、消火器の使い方や避難方法の確認をしている。非常食(期限の確認がされている)や非常時の備品の準備がされている。	災害時の通信網(職員や家族)の確認・避難経路を実際に歩いて確認される機会があるとより安心かと考えます。

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の状態を把握し、その人その人に合った言葉かけ等の対応行っている。又、プライバシーに関する事には、周りの状況を見て、言葉かけの工夫を行っている。	本人の気持ちを大切に考え、さりげないケアと人格を尊重した言葉がけをしている。個人情報の保護(含むプライバシー保護)は、毎年テキストにより研修を行い、習熟度テストで確認をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の暮らしの中で本人の思いに耳を傾けるように努めている。また出来る範囲で支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のペースに合わせている。居室やリビングで過ごす利用者様が多くリビングでは塗り絵をして過ごす利用者様が多く季節に合わせてた塗り絵を提供している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容を利用して髪のカット希望者には毛染めを行っている。外出時にはおしゃれを出来るように支援する。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の状況を把握してリクエストを聴いたり季節感の感じられるメニューを提供している。	好き嫌いは入所時に本人・家族から聞き、また残した食事を見て次の献立作りに生かしている。芋煮など季節感のある食事や仕出し弁当をとり、家族と一緒に食べる機会もつくっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	介護記録に毎日の食事量、水分摂取量記入している。また一人一人に合った食事、食事形態、食事量を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科の受診にて口腔内の清潔を保ったり、うがい、歯磨きを促し、義歯は毎日夜間に洗浄剤により清潔を保っている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の状態に合わせて排泄パターンを把握し支援している。記録を共有し成功事例を参考に支援している。必要以上に手を貸さないようにしている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、さりげない声かけやトイレ誘導をしている。排泄の失敗があった時は、本人のプライドを大切に、また他の人に気づかれないよう配慮した排泄支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、乳酸菌飲料の摂取行い、水分や食物繊維の摂取にて便秘予防を行なっている。又、医師の指示にて必要に応じて下剤の追加を行い服薬の調整が行われている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人の希望を伺い入浴を楽しめるよう、一人一人に合った入浴温度を把握して支援を行っている。必要な利用者様には足浴を行っている。入浴表により入浴状態の把握。	本人の希望に合わせて入って頂いている。忘れて2度入りたい方もあるが、体への負担を考え否定はせず、気持ちは受け入れて明日1番に入りましようとか、話題を変えて対応することもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	気持ちよく安眠していただこうに布団を干したり、シーツを洗ったりの工夫をしている。また入眠時の居室の温度管理にも注意している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ミスが起きないようにマニュアルに沿って支援している。スタッフが二重確認行い服薬変更時には、全スタッフが把握出来るように引継ぎしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの趣味や嗜好品を把握し、継続出来る事は支援行い、楽しみごととしての物作りや室内飾り作りを継続して行なっている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族様との外出支援。スタッフと施設周辺の散歩などで、季節を感じていただけるように支援している。	近くのバラ園や玄関前・ベランダを散歩している。タクシーで足湯や美術館に行くこともある。	散歩は、家族の希望もあり、また下肢筋力低下予防や気分転換のため、今後も継続されることを期待します。毎日出来る、短時間の散歩も検討されては如何でしょうか。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣い預かりの対応で金銭管理行なっている。本人の欲しい物があれば相談しながら購入出来るように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があれば電話できるようにフロアに電話を置いてある。最近では手紙を書く入居者様はいない		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	座席を変えたり、リビングに花を飾ったり季節を感じられるように工夫している。カーテンやエアコンの調整を行い部屋の温度調整を行っている。	リビングルームは、日光がよく入り明るくほどよい広さの空間で、家庭的な雰囲気である。廊下・壁には、手作りカレンダーや見やすい時計、貼り絵がある。特に異臭がしないよう気を配っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間では、会話が弾み一人になりたい時は、居室でTVを観たりと自由に過ごしている。また気の合う者同士がお互いの居室を行き来したりしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に今までお使いの馴染みの家具をお持ち下さいとお伝えしている。入り口には表札を掛け、ドアを開けたら、馴染みの家具や匂いがある事で居心地良く過ごせる配慮をしている。	居室には、寝具やタンス・写真などの思い出の品が持ち込まれ、本人の居心地の良さに配慮されている。ベッドの位置は、本人のこれまでの上り下りの習慣に合わせて配置されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は全てバリアフリーである。手すりには物を掛けないようにし、利用者様の動線を常に考え安全に配慮している		

(別紙4(2))

事業所名 ニチイケアセンター大津仰木の里

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 12 月 29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	地域住民参加での合同避難訓練が出来ていない。	地域密着型施設サービスとして地域自治会と連携を図り合同避難訓練等に参加する。	地域自治会長挨拶を行い地域の活動に積極的に参加する。 地域防災会との日程調整 地域住民との訓練内容調整	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

(別紙4(3))

サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	☐ ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		☐ ②利用者へサービス評価について説明した
		☐ ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		☐ ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		☐ ⑤その他()
2	自己評価の実施	☐ ①自己評価を職員全員が実施した
		☐ ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		☐ ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		☐ ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		☐ ⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	☐ ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		☐ ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		☐ ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		☐ ④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	☐ ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		☐ ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐ ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		☐ ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐ ⑤その他()
5	サービス評価の活用	☐ ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		☐ ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		☐ ③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
		☐ ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
		☐ ⑤その他()